別紙

令和８年度校区まちづくり交付金　交付決定助言書
【志紀小学校区まちづくり協議会】

〔交付決定にかかる条件〕

※下記に記載の〔交付決定にかかる条件〕については、年度内の活動の中で実践や実施に向けた検討を進めてください。その実績や検討状況については、実績報告書に記載いただき、ご報告ください。

〇取り組み②：河内音頭健康体操

〇取り組み③：歌体操

・健康を軸にコミュニケーションを取るきっかけになるのはとてもよい取り組みだと思います。他の健康づくりの取り組みとの連携を図る手法についてご検討ください。

〇取り組み④：健康講座

〇取り組み⑤：ノルディックウォーキング

・対象とされている世代は異なりますが、これらの取り組みについても他の健康づくりの取り組みとの連携を図る手法についてご検討ください。

〇取り組み⑦：ニュースポーツ大会

・対象者を「幼児から中学生」と想定されていますが、より広い世代を対象とした取り組みの実施についてご検討ください。

〇取り組み⑧：ニュースポーツで遊ぼう

・ニュースポーツ大会と連携する手法や、本取り組みがニュースポーツ大会の参加促進のきっかけにつながっているか等の効果検証の実施についてご検討ください。

〇取り組み⑪：まち協だよりの発行

・広報誌にかかる担い手の増加や募集、掲載内容の工夫など、具体的な改善策についてご検討ください。また、「認知度の向上」の効果検証の具体的な実施手法についてご検討ください。

〇取り組み⑫：志紀のまちフェスタ

・交流イベント後の継続的な関わりを視野に、「当日スタッフ」「企画メンバー」「学生ボランティア」「地域企業」など、さまざまな関わり方を用意し、地域活動への参加促進のきっかけにつなげる工夫についてご検討ください。

〇取り組み⑱：防災対応体制を整える

・安否確認タオルについては、配布とあわせて、その後の訓練への活用や地域の安否確認体制につなげる取り組みについてご検討ください。

別紙

〔今後の活動にかかる助言〕

※下記に記載の〔今後の活動にかかる助言〕については、まち協活動でご活用ください。こちらの項目については、実績報告の際の実施状況等のご報告は不要です。

〇取り組み⑱：防災対応体制を整える

・他の取り組みの実施とあわせて防災訓練の実施を検討されているようですが、防災に特化した企画として実施することで、事業の目的を明確にし、より効果的な取り組みにつなげることができると考えられますのでご検討ください

＜全体を通して＞

・健康づくり、子どものスポーツ・居場所づくり、地域の魅力発信、防犯・防災など、幅広い分野で年間を通じた活動が計画されており、地域住民が参加できる機会を継続的につくられていることが伝わってきました。特に、ドッジボール大会やニュースポーツ、ボールパーク志紀など、子どもや保護者が地域と接点を持てる事業が複数あることや、約 1,000 名の参加を見込む「志紀のまちフェスタ」で小中学生や地域企業の参画も検討されている点は、今後の担い手づくりにもつながる可能性を感じます。

一方で、18 の事業がそれぞれ充実しているからこそ、今後は「事業を実施する」だけでなく、参加した人がその後どのように地域との関わりを深めていくのかという視点を持つことも重要だと思います。例えば、子ども向け事業に参加した保護者に運営を少し手伝ってもらう、まちフェスタを新しいボランティアや企画メンバーと出会う場にするなど、「参加する→少し手伝う→企画にも関わる」といった参加・参画のロードマップを描いてみてはいかがでしょうか。

・まち協だよりや SNS についても、イベントの告知だけでなく、活動している人や参加者の声を紹介することで、「どんな人が関わっているのか」が見える発信になると、新しい参加者にも届きやすくなると思います。 あわせて、イベント時のアンケート等を活用し、子育て世代や現役世代を含む住民の困りごと、やってみたいこと、できることを把握し、次年度の事業づくりにつなげることも有効です。

事業をさらに増やすことよりも、現在ある多様な取り組みをつなぎ直し、「人が集まる事業」から「新しい人が地域に関わり続ける仕組み」へ発展させていくことを期待します。

・健康とスポーツを軸に幅広い活動をされていることが伺えます。対象者の設定に一部検討の余地が感じられる活動もありますが、多世代が参加できることがよく考えられていると思います。それぞれのイベントに連携をした方が良いものが散見されるので、他の企画の広報も行いつつ連携を取られると、より効果がでるのではないかと思います。多様な活動を続けるには、新たな担い手も必要となります。イベントや広報を効果的に使いその効果がどれくらいあるのかの検証もできると今後の展開にもつながると思います。最初から運営の担い手になるのではなく、段階を踏んでお手伝いから徐々に慣れていってもらえる工夫についてご検討ください。